

# あつぎ市議会だより



第260号 発行日/2022年11月15日 発行/厚木市議会 編集/広報広聴特別委員会 〒243-8511 神奈川県厚木市中町三丁目17番17号 ☎046(225)2700

## 9月定例会議

### 一般質問

# まちづくり、教育、健康など20人が論議

## 決算・物価高騰などに対応する補正予算など40議案を認定・可決

第4回会議（9月定例会議）は、9月1日から10月6日までの会議期間36日間で開かれました。市長から初日・第2日に提出された議案は、教育委員会委員と農業委員会委員の任命のほか、令和3年度一般会計など7会計の決算、条例の改正、市道の廃止・認定、厚木市と愛川町・清川村との住民票の写しの相互交付事務の委託の廃止に係る協議、令和4年度一般会計補正予算（第5・6号）、所有権移転登記手続請求事件の和解の36議案です。このうち、教育委員会委員および農業委員会委員の任命、初日に採決し、可決した令和4年度一般会計補正予算（第5号）の15議案を除く21議案は、質疑終了後、上程された陳情とともに所管の常任委員会に付託されました。

第2日から第4日までの3日間は、議員20人が登壇し、一般質問が行われました。また、休会中に各常任委員会・分科会が開かれ、付託された議案や陳情に対し、慎重な審査が行われました。最終日、各常任委員長から審査結果が報告され、討論の後、委員会に付託された全議案を認定・可決しました。また、教育委員会委員と農業委員会委員の任命について同意しました。

- 曾根 義久氏（上荻野）
- 高澤 友紀子氏（上荻野）
- 早川 暁氏（愛甲東）
- 松前 進氏（飯山）
- 三橋 澄夫氏（小野）
- 山川 宏司氏（飯山）
- 湯舟 武氏（山際）

### 教育委員の任命に同意

委員4人のうち、山本正彦氏（戸室）の任期満了に伴い、引き続き同氏を選任したいとの議案が市長から提出され、賛成全員で同意しました。

### 監査委員に田上祥子氏

議員の中から選出する監査委員の辞職に伴い、後任委員として田上祥子議員（公明党）の選任について、市長から議案が提出され、賛成全員で同意しました。



田上監査委員

2面中段に続く



『朝日を走るロマンスカー』＝相模川で撮影（公募写真）

### 令和3年度決算

認定した決算議案は、一般会計、特別会計（公共用地取得・後期高齢者医療・国民健康保険・介護保険事業、事業会計（病院公営・下水道事業）の7件です。決算議案は、予算決算常任委員会に付託され、予算決算常任委員会の下に設置された各分科会（総務企画・市民福祉・環境教育・都市経済）で令和3年度の事業執行に関する質疑を行いました（7面参照）。また、これからの行財政

### 農業委員の任命に同意

委員の任期満了に伴い、後任委員の任命について、市長から議案が提出され、賛成全員で同意しました。

- 井上 慎一氏（金田）
- 内海 則行氏（下津吉久）
- 大矢 和人氏（清川村）
- 小池よし子氏（妻田西）
- 鈴木 好弘氏（林）
- 清田 徳治氏（戸田）

### 第3回会議

第71代副議長に瀧口慎太郎氏が就任



瀧口副議長

取り組みべき社会課題が多様化・複雑化する中、市議会には、二元代表制の一翼として、さらに機能を強化することが求められています。議会改革や開かれた議会への取り組みを一層進めるため、議長をしっかりと支えてまいります。

### 補正予算

第3回会議が8月5日に開かれ、副議長選挙や常任委員などの選任が行われました（9面参照）。また、補正予算と条例の一部改正の2議案が提出され、質疑の後、採決し、可決されました。

### 条例の改正

厚木市職員の育児休業等に関する条例 非常勤職員の育児休業の取得要件を緩和するほか、所要の措置を講ずるための改正

### 主な内容

- ◆一般質問 2～6面
- ◆国に提出した意見書 5面
- ◆委員会・分科会の審査 7面
- ◆常任委員などの一覧 9面
- ◆本会議の審議結果 10面

# 一般質問 要旨

市政に関する

9月定例会議では、9月7日、8日、9日の3日間にわたり、20人の議員が一般質問を行い、市政全般の施策について市長などの考えを問いました。

## 防災・減災のまちづくりについて現状は

日本共産党 池田 博英議員



● 災害リスクの把握の現状および周知徹底と地域ごとの対策は。

○ 市長 地震および水害被害想定調査や、オールハザードマップを配布し、市民の皆さまに周知を行った。今後も、地区別防災マップを活用し、

● 地域ごとの対策について積極的に支援していく。

○ 避難所の電源の整備状況は。

○ 市長室長 災害時に避難所となる市内36校の小・中学校中、既に太陽光蓄電池を設置している6校を除く30校に、停電時の電力供給として発電機を設置している。

● 地域防災計画と防災都市づくり計画の違いは。

○ まちづくり計画部長 地域防災計画は、発災前から発災後の対策に対する取り組みの根幹をなす計画である。一方、今回策定する防災都市づくり計画は、被害を最小限に抑えるための総合的な防災・減災対策であり、さらに、復興事前準備の基本方針や取り組みについて定めるものである。

## 愛甲石田駅前ロータリーの再整備を急ぐ考えは

新政あつぎ 高村 真和議員



● 特設タクシー乗り場は不便であり、通常の乗り場に統合できないか。

○ 道路部長 障がい者などが利用する乗降場に設置したままの案内板の変更や、一般車の利用を制限する注意看板の設置など関係者と調整する。

● 障がい者などの乗降場への屋根の設置は。

○ 道路部長 利用者の待合環境の向上に向けて、今後、関係部署と連携を図り、改善したい。

● 高齢者や障がい者が増加する中、雨に濡れないよう、早期にバス停に屋根を設置する考えは。

○ まちづくり計画部長 バス待ち環境を向上させることは、利用者の利便性向上につながるもので、コンパクト・プラス・ネットワーク型の都市構造の充実に寄与するもの

と考える。

● 森の里東地区の開発に伴い大型車が住宅地周辺を行き来しているが、走行経路や対策を文書で地域に周知できないか。

○ 都市整備部長 組合から企業に推奨ルートを示しているが、今後、組合と企業誘致を担う業務代行者と調整したい。

● 亀田森の里病院前に横断歩道などの設置は。

○ 協働安全部長 地元の総意として自治会から市へ要望書を提出されれば、神奈川県公安委員会に再度働き掛ける。

● 県立厚木西高校の生徒が自転車通学に利用する歩道が狭いため、広げる整備ができないか。

○ 道路部長 現況の歩道空間の中で、有効幅員の確保や、視覚的に通行区分を明示するなど、環境改善を図る。

1面下段から続く

## 条例の改正

可決した条例の一部改正議案は2件です。

● 環境基本条例 カーボンニュートラルの実現に向け、基本理念の一部を改めるための改正

● 地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例 南部産業拠点酒井地区地区計画の都市計画決定に伴い、当該地区の建築物に関する制限を追加するための改正

## 補正予算

可決した一般会計補正予算議案は3件です。

【第5号の歳出内容】

● 感染症対策事業費 新型コロナウイルスに感染した自宅療養者への食料品などの配送件数が想定を上回ることに伴う増額

● あつぎ点まつり開催事業費 延期に伴い、費用が生じることによる増額

【第6号の歳出内容】

● 庁舎、公園、児童館、学校施設、公民館、体育施設などの維持管理事業費(21事業) 原油高などの影響による光熱水費の高騰に対応するため増額

● 福祉総合情報システム整備事業費 障がい福祉と、安心して子どもを産み育てられるよう出産前後の切れ目ない支援の強化に努める。

サービスデータベース構築に係るシステム改修を行うための増額

● 不妊治療費助成事業費 申請件数が当初の予定を上回ることに伴う増額

● 子育て世帯への臨時特別給付金補助金過年度返還金 給付実績に基づき、国庫補助金の返還が生じたことによる措置

● 児童館、公園、学校施設、給食施設、体育施設などの維持補修事業費(9事業) 老朽化した施設・設備を修繕するための増額・措置

● 児童館LED化事業費・道路補修事務所LED化事業費 カーボンニュートラルの推進などの観点から、照明のLED化を進めるための措置

● 道水路等維持補修事業費 老朽化した農業用水路を補修するための増額

● 道路施設維持管理事業費 光熱水費の高騰に対応するほか、道路側溝の清掃や街路樹を剪定・伐採するための増額

● 生活道路整備事業費 南毛利スポーツセンターのり面の崩落を防ぐため、対策工事に向けた測量などを行うための増額

● 道路維持補修事業費 道路路損箇所を補修を行うための増額

● 交通安全施設事業費 路面標示などを補修するための増額

● 河川維持補修事業費 河床部の補強や樹木の伐採のほか、管理用施設を補修するための増額

● バス・タクシー原油価格高騰対策交付金 燃料費高騰の影響を受けているバス・タクシー事業者を支援するための措置

● 排水路維持補修事業費 住宅地に隣接する排水路敷のコンクリート舗装などを行うための増額

● 公園緑地維持管理事業費 光熱水費の高騰に対応するほか、公園樹木を剪定・伐採するための増額

● 森の里東地区画整理(継続費)・厚木環状3号線(第4工区)街路整備事業費(継続費) 工事計画の見直しに伴い、継続費の年割額を変更するための減額

● 市営住宅維持補修事業費 老朽化した設備や入居者退去に伴う内装などを修繕するための増額

● 空き家等対策推進事業費 国庫補助金過年度返還金 空き家跡地の売却によって除却費用を回収したことにより、国庫補助金を返還するための措置

● 若年世帯住宅取得支援事業補助金 当初見込んだ申請者数を上回ることによる増額

● 特別支援教育推進事業費 特別な支援が必要な児童・生徒に介助員を追加配置するための増額

● 小学校校舎・体育館改修事業費(長寿命化)(その2)・小学校校庭整備事業費(その2) 国庫補助金を活用し、愛甲小学校校舎外壁、グラウンドを改修するための措置

● 小学校児童支援推進事業費 小学校に非常勤講師を配置するための増額

● 中学校校舎・体育館改修事業費(長寿命化)(その2) 国庫補助金を活用し、藤塚中学校校舎外壁などを改修するための措置

● 小・中学校LED化推進事業費 国庫補助金を活用し、照明をLED化するための措置

● 厚木北公民館整備事業費 公民館解体工事に伴う周辺家屋などへの影響を補償するための増額

【第7号の歳出内容】

● 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 給付事業費など 住民税非課税世帯などに1世帯当たり5万円を給付するための措置

● 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費など オミクロン株対応のワクチン接種に向け、接種券発行や乳幼児への接種に向けた準備をするための増額

【一般会計補正予算後の予算額(増減額)】

989億4659万9千円(第5号は6227万円増、第6号は17億4957万6千円増、第7号は20億48万4千円増)

認定

● 開発行為に伴う下萩野・上落合地内の各1路線を認定

● 開発行為に伴う上依知地内の1路線を廃止

● 払下げに伴う上萩野地内の1路線、中萩野地内の2路線、七沢地内の1路線を廃止

## 事務委託の協議

可決した事務委託の協議議案は2件です。

● 厚木市と愛川町・清川村における住民票の写しの相互交付について、マイナンバーカードによるコンビニエンスストアでの交付など、住民票を取得できる複数の手段を確保できたことに伴い、事務委託を廃止するもの

## 民事訴訟の和解

● 原告所有の土地と隣接する市有地の時効取得を原因とする所有権移転登記手続請求事件について、和解を成立させるもの

## 議員提出議案

可決した議員提出議案は2件です。

● 国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上並びに行き届いた教育の実現を求める意見書について(5面参照)

● 市長の専決事項の指定についての一部改正について(4面参照)

## 市道の認定・廃止

可決した市道路線の認定・廃止議案は8件です。

● 開発行為に伴う下萩野地内の1路線を廃止・認定

● 道路新設改良事業に伴う下古沢地内の1路線を

### 交通死亡事故ゼロを達成するための取り組みは

ネクストあつぎ 高橋 豊議員



本市の課題と今後の取り組みは。

市長 本市における昨年の交通死亡事故は、交差点内や自転車乗車中など、6人の命が失われたことから、今年度予算の最重要項目に位置付け、通学路の安全点検や、人優先の道路・交通環境整備を強化するとともに、世代別の交通安全教育など交通安全思想の普及に努めており、今後さまざまな取り組みを推進していく。

●中町第2-2地区整備  
複合施設整備の進捗状況は。

市長 誇りと愛着を感じられる施設の整備を目指し、現在、建物の配置や規模、概算工事費、工事工程など、実施設計、施工業務に向け最終的な検討を行っている。

●愛甲石田駅周辺まちづくり  
基本構想策定の進捗状況は。

市長 現在、検討委員会において、構想の範囲や分野別の方向性、まちづくり方針などを検討し、提言内容をまとめている。今後、パブリックコメントを実施し、基本構想を策定する。

●厚木秦野道路整備  
本市への効果と建設促進の取り組みは。

市長 国道246号の慢性的な交通混雑の緩和を見込んでおり、周辺の生活道路を抜け道で利用する車両が減少し、地域の安心・安全な環境整備が図られると考える。平成30年度から用地



東名高速道路、新東名高速道路、圏央道と相互に連絡することにより、圏央地域における広域ネットワークを形成する約29.1kmのバイパス事業

### 子どもの車内放置事故の防止対策は

ネクストあつぎ 田口 孝男議員



ネグレクトにつながる不適切な養育への対応の現状と課題は。

市長 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うため、子ども家庭総合支援拠点を設置している。今後も児童虐待の周知啓発を図るとともに、児童相談所や警察との連携を強化し

迅速な支援に努める。

セーフコミュニティの視点から考える事故防止対策は。

市長 厚木市セーフコミュニティ推進協議会や各対策委員会において課題を共有するなど、さらなる連携の強化を図り、安心・安全に暮らすことのできる良好な地域

### 野生鳥獣による農作物の被害状況と対策は

ネクストあつぎ 三橋 文男議員



野生鳥獣による農作物の被害金額は。

環境農政部長 被害額は年々減少傾向にある。令和3年度は255万4000円で、過去5年間で最も大きかった令和元年度の521万4000円と比較して半減している。

獣害防護柵の補助金の申請と交付の状況は。

環境農政部長 個人が設置する獣害防護柵については、令和元年度は16件、2年度は15件、3年度は24件の申請があり、毎年約100万円を交付している。

●地産地消の取り組み  
地産地消の取り組みは、市民朝市と夕焼け市の開催実績は。

環境農政部長 令和3年4

### 社会的実現に取り組む。

今後さらに取り組むべき対策はあるか。

協働安全部長 個人だけでなく、地域社会全体で子どもを守る意識の醸成が必要である。今後も全国の事例などを参考に横断的な対策に取り組んでいきたい。

●現業職員の健康管理  
職場における熱中症予防対策は。

市長 適切な休憩時間の確保や無理のない作業内容の徹底を呼び掛けるとともに、産業医と

### 歯科医療政策の推進状況は

公明党 川口 仁議員



歯科医療政策を推進していくために口腔保健の推進に関する条例の制定を検討してはどうか。

市民健康部長 令和3年4月に第3次健康食育あつぎプランを策定し、歯と口腔の健康増進に取り組んでいる。今後は、条例の策定について研究していきたい。

●あつぎSDGsパートナー制度  
本制度は、どのような目的で進めているのか。

政策部長 本市と企業、団体などが共にSDGsの達成や地域課題の解決に向け、市全体で取り組みを推進することを目的としている。

●本制度に登録した企業、団体などに対して、企業、団体などに対して、どのような協力や支援を考えているのか。

政策部長 SDGsに関する活動の報告や独自で開催するイベントなどの情報提供をお願いすることはある。支援としては、市ホームページなどで企業、団体などの活動を広く情報発信することで、認知度やイメージ向上を図っていく。また、SDGsに関する勉強会の開催などを通じ

### 広報広聴

特別委員会から

厚木市議会では、8月19日に子ども議会(中学生議会)を開催しました。3人の生徒が議長役を担い、19人が登壇して市長や教育長に質問しました。学校給食のフードロスや部活動への支援、自転車通学などの身近な問題をはじめ、まちの活性化など、大変活発な議論が交わされました。参加した中学生からは「直接自分の意見を伝える場となり良かったです。」(寺岡まゆみ)「市の取り組みや議会について関心を持つ機会となった」などの感想が聞かれました。また、コロナ禍で制限を設けて実施していた議会報告会ですが、11月中旬に4常任委員会が市民・団体を対象に対面とオンラインにより開催します。それぞれテーマを設け、市民の皆さまと意見交換を行い、市政に反映できるように努めてまいります。(寺岡まゆみ)

厚木市議会 会務検索

### 政治家の寄付は禁止 有権者が求めることも禁止

- ◆ 秘書などの代理出席による結婚祝い、葬式の香典
- ◆ 祭礼、集会、旅行などの寸志や飲食物の差し入れ
- ◆ 入学・卒業祝やお中元・お歳暮、見舞い
- ◆ 開店祝や葬式などの花輪・供花

### 歩道の整備と通学路としての安全対策は

きずな 新井 啓司 議員



歩道確保について、学校から通学路改善要望が教育委員会に提出されたと聞いており、早急に対応を検討できないか。

道路部長 道路整備に合わせ、歩行者だまりを設置し、横断歩道を設置できる環境づくりをしていく。

協働安全部長 横断歩道の設置については、歩道完成後の通行する人数や車両の通行量など、さまざまな要素を総合的に確認しながら厚木警察署と協議していく。

道路部長 あつぎの道づくり計画の一環として既に測量作業を実施し、用地交渉を行っている。今後も、沿線地権者の合意を早期に取り付け、安心・安全な道路空間の形成に努めていく。

南毛利小学校西側の南北道路の歩道整備とそれに接続する通学路の安全対策の進捗状況は。

各学校でシンボルとなっている樹木は、老木が多いと思われるが具体的な対策は。

教育総務部長 職員や教育委員会職員の目視による日常的な点検を行うことで樹木の異常を早期に発見し、計画的に剪定や伐採を実施していきたい。

伐採するか保存していくかなどの判断基準を示す資料が必要ではないか。

教育総務部長 樹木医などの専門の方の点検やガイドラインの作成については、さまざまな課題があるため、今後、研究していきたい。

### 一般質問 主な質問と答弁

コンパクト・プラス・ネットワーク推進事業の成果は

あつぎまちづくり 渡辺 貞雄 議員



開発審査会提案基準15「建築物の用途変更」改正

一定の条件をクリアすれば用途変更が可能になることは、大きな反響があり、感謝の声が届いている。改正点は。

市長 用途変更の申請ができる方について、分家住宅などに現在居住している当初の建築主または相続人のほか、新たに、現在居住していない相続人や、当該住宅を購入し居住しようとする方も加えた。また、建築後20年以上経過してい

る建物については、分家住宅として一定の目的を達成したものと考え、用途変更することもやむを得ない理由の一つとして、新たに基準に追加した。

増加しているが、支援と課題は。

教育長 教育委員会で支援体制を充実させるとともに、児童・生徒の社会的自立に向けた支援を行っている。また、市立小・中学校では、本人の状況に合わせた支援に取り組んでいる。引き続き、関係機関と連携を図り、個に応じたきめ細かな支援に努めていく。

### 支援措置対象者情報の漏えいについて今後の対応は

無党派 後藤 由紀子 議員



厚木市では、DV等支援措置対象者の女性の住所を誤って加害者側に漏らしてしまった。一歩間違えば重大な事件に発展したであろう事案であるが、今後の対応は。

市長 再発防止に向け、税務システム改修を速やかに進め、運用ルールの見直しや複数の職員による確認を徹底した。

今回、誰がどのように責任を負ったのか。

財務部長 罪を憎んで人を憎まずという言葉がある。さまざまな面

を管理不全に陥り、地域の方々の生活環境に悪影響を及ぼしていた空き家に対し、2件の財産管理人選任申し立てを行い、1件が既に売却され、現在は良好な住環境となっている。今年度も同様の手続を2件予定している。

所有者不明土地の活用についての考えは

公明党 田上 祥子 議員



所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法施行後の本市における活用事例は。

まちづくり計画部長 所有者不在のため管理不全に陥り、地域の方々の生活環境に悪影響を及ぼしていた空き家に対し、2件の財産管理人選任申し立てを行い、1件が既に売却され、現在は良好な住環境となっている。今年度も同様の手続を2件予定している。

市 街化区域内の私道に公共下水道を設置することにより、私道に面している家屋の水洗化の復旧および促進を図ることを目的に、5点の条件を設定し申請を受け付けているが、条件の一つである権利者の同意については、私道の全ての権利者に承諾を得る必要がある。倒産している会社などがある場合には債権者や清算人などからの承諾により

働かなかったというのが一番大きな原因であるが、税務システムを改修し、チェックを可能にした。レアなケースで起こる可能性が多くあるため、職員間の連携などが重要であり、強く行っていく。

政策部長 市長出席の下、再発防止に向けた検討会を開催した。今後も情報セキュリティの確保に関する庁内通知、全職員を対象とした情報セキュリティ自己点検、セキュリティ点検情報セキュリティ点検の実施およびシステム間連携の確保など、継続的な情報セキュリティの確保に努めていきたい。

折り返し式でみり納付 貸与方式で使用しているごみ収納枠は、現在、集合住宅には貸し出していないが、要望のある所へは貸し出しを行うのもよいのではないかと。

循環型社会推進担当部長 集合住宅であっても集積所が設置されていない場合や、入居世帯の多くが自治会員であったり、清潔保持のためなどに、自治会長からの相談があった場合には事情を勘案し、個別に対応していきたい。

### 男性トイレにサニタリーボックスの設置は

公明党 寺岡 まゆみ 議員



前立腺がんや膀胱がんなどの手術後に尿漏れパッドや紙おむつを使用される方が増えており、外出先での処分に不便を感じているとの声を聞くが、サニタリーボックスの設置の状況は。

市長 本市においては今年8月から本庁舎の男性トイレ個室に設置しており、他の施設においても順次設置に向けた準備を進めていく。

市民健康部長 民間業者などについては、機会を捉えて呼び掛けていきたい。

事情のある家庭が増えているが、父子家庭、祖父母による養育家庭などの情報は養護教諭と共有できているか。女兒・生徒の下着やナプキンの選び方など、本人や保護者へのアドバイスなどは

学校教育部長 年度初めに全教職員で情報共有を行っており、思春期における女兒・生徒の身体的な悩みなどに配慮した対応が必要な場合、養護教諭をはじめ、複数の教職員が組織的に対応できるように体制をつくり関わりを持っている。

市民と協働のまちづくり 厚木市民には大変な方たちに何かしてあげたいと考える方が多い。市のボランティア相談事業をもっと周知し市民の思いを形につなげるため、大きな壁である資金調達について、さまざまな団体・企業の補助金などのメニューを、市で一覧にして情報提供できないか。

協働安全部長 県の情報を活用・連携することで、助成金制度の情報提供を行っていく。

「市長の専決事項の指定について」の一部を改正

議員提出 議案第3号

陳情第7号「工事請負契約に係る軽易な変更について地方自治法第180条第1項に基づく専決事項とすることを求める陳情」の採択を受け、市長が専決処分できる事項を加えました。

8 議会の議決を経た工事請負契約について、その契約金額の1割以内の額に係る変更契約を締結すること。ただし、当該変更契約により増加又は減少をすること及び財産の取得又は処分に関する額未満とする。

### 農業経営の安定化に 向けた取り組みは

きずな 石井 芳隆 議員



●肥料価格が高騰しているが、農業経営を安定化させるために市独自の支援策を考えているか。

●環境農政部長 肥料価格の高騰が農業経営に大変な影響を及ぼしている。十分認識しており、国、県の支援制度の動向と肥料価格の推移を引き続き注視する。

### ●緑地の維持管理

●開発行為の許可条件である緑地の維持管理が適切に行われていない状況が散見されている。地域の安心・安全や田畑に影響を及ぼすことに

して確認や指導などを行うように行っているか。

●市長 開発行為により整備される緑地については、住みよいまちづくり条例に規定する特定開発事業の承認に当たり、定期的に除草を行うなど適切な維持管理に努めるよう事業者へ指導している。また、公園等整備基準に基づき保全に関する協定を締結した緑地については、管理者から管理状況の年次報告を受けるなどの対応を行っている。

●許認可担当部長 近隣から管理上の相談が

### SNS公式アカウントを 充実する考えは

公明党 山崎 由枝 議員



●さまざまな行政サービスを対象者が漏れなく利用できるようにするプッシュ型通知サービスの今後の見解は。

●市長室長 本市の公式LINEでは、受信設定により必要な情報を知らせるほか、入力された生年月日や性別などを活用し、特定の年代や性別などの方に限定した情報発信もしている。制度の対象者に個別に通知する方法はきめ細やかにできる一方、入力が不十分、不正確な場合に情報発信

ができないため、メリックトやデメリックトなどを考慮し、効果的な活用を研究していく。

●LINEの登録者数を増やす工夫は。

●市長室長 使いやすくなることは登録者数の増加につながるかと考えており、他市の事例として子育ての窓口予約や届け出などさまざまなメニューがあることも認識している。今後も使いやすくなる必要情報を簡単に入手できるように機能の充実に努め、登録者数の

あった場合は、事業者に改善をお願いしている。

### ●循環型社会の構築

●剪定枝と食品廃棄物をどのように活用しているか。

●循環型社会推進担当部長 家庭から出る剪定枝は回収して堆肥化しており、令和3年度は約2700トンを資源化した。食品廃棄物は、令和4年度は公共施設39箇所から出るものを集め、市外の食品リサイクル施設へ持ち込み、バイオエネ

ルギー化している。

会継ム 議中テ 市会ス 厚議シ

### ●スポーツ施設の整備

●若者に人気があるスケートボードやバスケットボールの施設は市内に何箇所もあるが、音が響く、小さな子どもが同じ場所にいるので危険といった声がある。安心して利用しやすい環境があればと感じるが、この検討は。

●社会教育部長 民間施設も含めて他の自治体で整備した事例もあるため、施設の運営や維持管理上の問題も含めて調査研究していきたい。

### 旧統一教会と本市の 関わりは

きずな 高田 昌慶 議員



●過去に学校の外部講師として旧統一教会の関連団体と関わりがあったのであれば、今後は厳しく、明確化した対応が必要だと考えるが見解は。

●学校教育部長 2008年に発生した際に教育長から市立全小・中学校長に対し、事案に対する説明と今後の講師などの選定に関する指導を行った。以降は、講師の経歴や自治体での実績などから、教壇に立つにふさわしいかを確認した上で依頼している。

●消費者契約法が平成30年に改正され、靈感商法など、取消し対象になる契約行為が追加になった。このような内容を周知する必要があると考えるが見解は。

●労働安全部長 市ホームページで消費者契約法の周知を図ってお

り、消費者ホットライン188で悪質商法の事例を踏まえての注意喚起や、旧統一教会問題合同電話相談窓口サイトの案内もしている。また、市内公共施設などへのポスターの掲示や自治会回覧など、さまざまな媒体で周知に努めている。

### ●国葬への対応

●法的根拠がない中で国葬を執り行うのではなく、法治国家として現性のある国事行為として、根拠を明確化して議論すべきだと思う。本市では学校で半旗掲揚および黙とうは行わないのか。

●教育総務部長 文部科学大臣が教育委員会や学校に対し、半旗の掲揚や黙とうによる甲意表明の協力は求めないという考えを示しており、現段階では、市立小・中学校に要請する予定はない。

### 小・中学校の統廃合に 向けた取り組みは

新政あつぎ 望月 真実 議員



●統廃合を検討する中で、行政各課などが不登校特例校について協議する場として、準備室の設置を検討できないか。

●教育総務部長 統廃合の検討は、大きな事案だと認識している。準

### ●クロームブックの活用

●児童・生徒のアカウントと電子図書館の連携状況と今後の展開は。

●教育長 モデル校を指定し、アカウントを

## 国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上並びに行き届いた教育の実現を求める意見書

議員提出 議案第2号

国は、全ての国民が持つ教育を受ける権利を保障する立場にあり、子供たちが一定水準の教育を受けられる環境を整えるには、3分の1に引き下げられた義務教育費国庫負担制度を2分の1へ復元するとともに、義務教育教科書無償給付制度を堅持する必要がある。

学校現場における課題が複雑化・困難化する中、子供たちの豊かな学びと育ちを実現するために、教職員定数拡充や専門スタッフの拡充などの施策が最重要課題である。小学校の学級編制標準が段階的に35人に引き下げられるが、少人数学級の必要性は中学校においても変わりはない。さらに、きめ細やかな指導を行うために、今後は30人以下学級の実現が望まれる。

新型コロナウイルス感染症が子供の心へ与える影響は大きく、教職員には今まで以上に、一人一人の心に寄り添った対応が求められている一方で、日々の感染症対策は、教職員が子供たちと向き合う時間の確保を困難なものにしている。加えて、TTや少人数授業のために配置されていた教員の一部が、今年度35人以下学級を実現するための定数として使われており、実質的に学校現場の教職員の配置は増加したとは言えない。

子供たちの心のケア等に対応するには、さらなる加配教員の充実や、スクール・サポート・スタッフ等の拡充、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの全校配置が必要である。よって、国においては、2023年度政府予算編成において次の事項が実現されるよう強く要望する。

- 1 教育の機会均等、水準の維持・向上、無償制の維持に不可欠な義務教育費国庫負担制度を存続・拡充させること。また、学校事務職員・学校栄養職員をその対象から外さないこと。さらに、義務教育教科書無償給付制度を継続すること。
- 2 行き届いた教育を実現するために、小学校の35人以下学級を計画的に進め、中学校での35人以下学級を早急に策定すること。また、30人以下学級の実現に向けて検討すること。
- 3 学校の働き方改革・長時間労働の是正を実現し、教職員が子供と向き合う時間を確保するために、加配の配置増など教職員定数改善を推進すること。また、スクール・サポート・スタッフ、介助員等の専門スタッフ職の拡充、教育環境を整備するための予算を確保・拡充すること。
- 4 子供たちの心に寄り添うための、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの拡充を行うこと。

令和4年10月6日

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

発行して電子図書館サービスの利用を開始している。今後も多くの児童・生徒が利用できる仕組みを研究していく。

### ●ネグレクトとヤングケアラーに対する支援

●不登校の背景にヤングケアラー、不適正養育が絡むのか。青少年教育相談センターはどのような対応をしているか。

●学校教育部長 不

登校の背景には本人の状況だけでなく、学校や家庭環境などさまざまな要因がある。ヤングケアラーと思われる相談があった場合、スクールソーシャルワーカーなどが家庭や本人の状況を把握し、関係機関と連携を図りながら必要な支援を行っている。

●ヤングケアラーへの理解を深める研修会の実施やこの先の展望は。

●こども未来部長 不適切な養育がされている子どもを早期に見出すために小・中学校校長会、教頭会をはじめ、児童館の指導員などに周知を行っている。今後も要保護児童対策地域協議会を活用し周知啓発を図るとともに、多くの研修の機会を設けられるよう関係部署と連携していく。

### 市立小・中学校の ゼロエネルギー化の考えは

新政あつぎ 高橋 知口議員



●建物建て替えはゼロエネルギー化の絶好の機会であるが、その考えは。また、教育総務部長の思いは。

●教育総務部長 今後、建て替える校舎や体育館は、カーボンニュートラルの実現や、環境教育の推進に向けた施設整備に取り組んでいく。ゼロカーボンシティを目指す本市として、また、未来を担う子どもたちに環境意識を持ってもらうための教育の場としてふさわしい学校となるよう、取り組んでいきたい。

●教育総務部長 例えは統廃合を行った場合には、スクールバスの活用も視野に入ってくる。また今後、民間プールなどを活用する場合には、基本的にはバスなどでの移動となるため、児童・生徒の安全性を確保した上で迅速な移動が可能な乗降場所の確保が必要であると考えている。各校の実

情を考慮し検討を進めていく。

●体育館の冷暖房化など 地域利用や避難所としての利用も考え、冷暖房化など、建物の環境性能向上が必要ではないかと以前指摘したが、その後の検討状況は。

●教育総務部長 先進事例などを参考に、省エネ対策を図りながら整備をする方策について、調査、研究をしてきた。今後は、環境部署との横断的な連携を図りながら、方針について引き続き検討していきたい。

●スクールバスを想定

●市立小・中学校

●乗降環境整備の考えは。

●教育総務部長

●例

●活用も視野に入ってくる。

●また今後、民間プール

●などを活用する場合には、

●基本的にはバスなどでの

●移動となるため、児童・

●生徒の安全性を確保した

●上で迅速な移動が可能な乗

●降場所の確保が必要である

●と考えている。各校の実

### ウクライナ大使館訪問の 報告内容は

無党派 高田 浩議員



●ウクライナで2017年に描かれたキッズゲルニカを6月にアミューズで展示することができ、8月には、その際に集まった人道支援基金をウクライナ大使館に届けることもできた。どのような報告を受けたか。

●福祉部長 あつぎキッズゲルニカ実行委員会委員長、高田浩議員、大学生と共に職員が大使館を訪問し、大使館職員から、平和的な解決につながることを強く願っているなどの話を伺い、戦争

●終結への願いを改めて痛感したと報告を受けた。

●あつぎSDGsパートナー

●私は、SDGsに

●取り組む事業者などを本

●市が認証する制度を提案

●し、今年度からあつぎSDGs

●パートナーが開始される。ステッカー作成

●を提案するが、いかがか。

●政策部長 あつぎSDGs

●パートナーに登録をいただいた企業、団体などの皆さまには、厚

●木市産間伐材を活用した登録証を付与することなど

●で、認知度やイメージ

●向上を図っていく予定

●であるが、ステッカーに

### 一般質問

#### 主な質問と答弁



●職場環境の改善 腰痛や肩凝り対策として、職員の希望があれば、椅子の代わりにバランスボールを使うこともできるかどうか。

●財務部長 まずは試験的に購入し、職員に試してもらい、効果や庁舎内のスペースの問題などを個々に判断した上で、引き続き利用したいという職員については、自費購入によって利用することを考えている。

### 森の里東土地区画整理事業は 問題点があるのでは

あつぎの会 井上 敏夫議員



●公金の割合について 他市の事例で、埼玉県三郷インター南部土地区画整理事業の総事業費は114億円で、市助成金は5億円、保留地処分金は109億円で、借入金や利子もない。また、組合設立前の費用は業務代行者が立て替えており、資金計画では組合に余剰金が出たため1億5000万円に相当する物品を教育関係に寄付したとのことである。この事例と比較すると、本市は総事業費に占める公金の割合が多いが見解は。

●都市整備部長 土地区画整理事業は、各地域の実情に応じて施行され、他地区の事例と比較して評価することは、困難なものと認識している。なお、事例の総事業費は約2億円上昇している。

●都市整備部長 都市計画で定められた重要な公共施設である緑地面積の内数となる対象緑地は、法に適合している。



▲6月にアミューズで展示されたキッズゲルニカ  
▲9月からはあつぎプロジェクトがスタート。来年1月に完成予定

### 児童・生徒に寄り添う 生理用品配布の取り組みは

あつぎの会 名切 文梨議員



●令和3年6月に、経済的な理由に限らず、つらい思いなどで困る児童・生徒が出ないよう、小・中学校の個室トイレへの設置を要望したが、方向性は。

●学校教育部長 校長会などと意見交換を行うなど、前向きに取り組んでいきたい。

●財政面も含め最大限協力するということが。

●学校教育部長 そのとおりである。

●男性トイレへのサンタリーボックス設置の考え

●市議会会議録の配架

●令和3年度の会議録作成業務委託料は約547万円だが、令和元年12月定例会議分から配架されず倉庫に保管されている。財務部は、このことを把握した上で予算措置

置をしているのか。

●財務部長 予算計上に当たり、倉庫の中身までは承知していない。

●ごみや資源の出し方



●道路部長 交通混雑の解消に向け、今年度、車道の一部を拡幅する工事を発注する。

●道路部長

●交通混雑の解消に向け、今年度、

●車道の一部を拡幅する工

●事を発注する。

# 委員会・分科会の審査

## 補正予算・決算など

### —主な質疑と答弁—



令和4年度補正予算、令和3年度決算などの議案について、委員会・分科会での主な質疑と答弁を紹介します。

## 総務企画

### ○令和3年度一般会計歳入歳出決算

【問】(加盟店舗や団体などが決めたSDGs活動)が受けられるアプリ「まちのコインアユモ」などを実施する)SDGs推進事業について、ゲームセンターに行くきっかけづくりを市がしている側面もあり、それがSDGsにどうつながるのか。  
【答】このスマートフォンのアプリは、特典が付くことに加え、SDGsへの貢献度や、目標達成度もアプリの中で確認することができ、SDGsの取り組みを自分事として進めていると実感してもらえるものだと考えている。また、エコバッグを持参したらポイントをもらえるなど、SDGsにつながるものと思っている。【問】公売による納税について、実績と効果は、イ

## 市民福祉

### ○令和3年度一般会計歳入歳出決算

【問】生活保護費支給事業について、コロナ禍による影響はあったのか。  
【答】利用世帯数は増加傾向にあるが、増加ペースは鈍っていると認識している。雇用調整助成金、生活福祉資金、住居確保給付金などの支援策が十分に活用されたことが、影響を大きく受けなかった要因と捉えている。  
【問】本厚木駅周辺環境浄化対策事業について、駅西口や北口バス停から市役所までの路線にまだ多くの客引きが見られる。その箇所は客引き行為等防止特定地区とし

## 環境教育

### ○令和3年度一般会計歳入歳出決算

【問】ごみ減量化・資源化推進事業について、前年度と比較して進展したことはあるか。  
【答】公共施設などで出る食品廃棄物は、今までほとんどが環境センターで焼却処分していたが、令和3年6月からはバイオエネルギー化と、一部の中学校については生ごみ処理機を設置して減量化を行っている。  
【問】電子図書館事業について、ライセンス制とは何か。  
【答】一般的に電子図書館コンテンツは1ライセンス

## 都市経済

### ○地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

【問】現在、上落合入口の交差点を起点とした混雑具合が見受けられる。ショッピングセンターの影響も大きいと思うが、整備に伴う混雑状況をどのように予測しているか。  
【答】施行地区内においては、この事業によって発生集中交通量が、1日、約2500台程度増加することになる。開発に伴う交通量を加味した上で、周辺交差点における将来交通などを解析したところ、信号制御交差点における需要や一時停止交差点における交通容量比について、特に支障がないことを確認している。  
【問】令和4年度一般会計補正予算(第6号)  
【問】複合施設実施施設・施工業者選定支援業務委託経費について、

## 都市経済

### ○令和3年度一般会計歳入歳出決算

【問】市内飲食店307店舗で、1万4433人の方にプレミアム付商品券を利用していた。5000円の商品券をワンセット3000円で販売して、総額3億5000万円分、7万セットを完売した。期間中の利用総額は3億4897万1640円で、使用率は99.7%となり、飲食店の売上げ向上を図ることができたと考えている。  
【問】空き家等対策推進事業について、空き家の実態調査の結果とそれを分析した上での対応は。  
【答】空き家等対策計画改定の基礎資料とすることを目的に、令和3年度に市内の空き家の戸数、分布状況、管理状況などについて、現地調査を実施した結果、844件の空き家を確認した。管理不全により助言などが必要な空き家は、平成28年度の205戸から46戸と大幅に減少しており、これまでの取り組みの効果があつたものと認識している。問題が深刻化する前の早期の対応と空き家を発生させないように居住している段階から問題意識を高め、予防することが最も重要であるため、市民の皆さまなどに周知・啓発することで、新たな発生を抑制し、管理不全の空き家を増やさないように取り組んでいく。

## 条例施行後2回目の検証を実施 議会基本条例の 検証結果などを報告

市議会では、議員9人で構成される評価検証委員会を設置し、条例が目的に沿って運用されているか検証を行いました。

### ◆検証の結果

【評価が高かった取り組み】  
・市長などとの緊張関係を維持するため、一般質問と議案質疑を一问一答方式で行うこと  
・審議における論点整理をするため、市長などに対して重要事項の説明を要求すること  
・誠実かつ公正な職務遂行のため、政治倫理要綱を遵守すること  
・議会機能を確保し議会としての責務を果たすため、議員定数を検討、協議すること  
【評価が低かった取り組み】  
・専門的、政策的見識などを議会の議論に反映させるよう努めるため、参考人制度、公聴会制度を活用すること  
・委員会において議論を尽くすため、議員間討議を実施すること

### ◆今後の方向性

評価が高い取り組みは継続することとし、評価が低い取り組みは、目標達成に向けて計画的に取り組むことや、調査・研究を進めることなどを今後の方向性としてしました。

### ◆検証等報告書

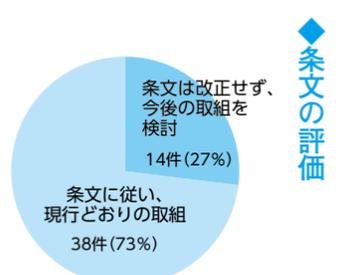
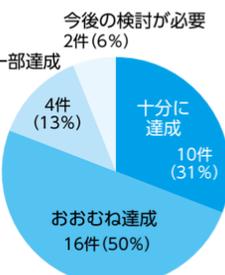
市議会ホームページをご覧ください。

### ◆検証の流れ

【成果指標(Plan)】  
「取組内容(Do)」「検証・評価(Check)」「今後の方向性(Action)」の「PDCAサイクル」に基づき、「評価シート」を条文ごとに作成し、実績を取りまとめました。その後、全議員28人が評価シートに記入する形で評価・検証を行い、その結果を踏まえて評価検証委員会としての評価、検証を行いました。

### ◆取り組みの評価

【評価】  
・十分に達成 10件(31%)  
・一部達成 4件(13%)  
・今後の検討が必要 2件(6%)  
・条文に従い、現行どおりの取組 38件(73%)  
・条文は改正せず、今後の取組を検討 14件(27%)



# 令和3年度 決算の認定

令和3年度一般会計と4つの特別会計（公共用地取得事業・後期高齢者医療事業・国民健康保険事業・介護保険事業）の歳入歳出決算および病院・公共下水道事業会計決算は、定例会議初日に予算決算常任委員会に付託され、部門別の分科会で分担しました。9月22日に総務企画分科会、26日に市民福祉分科会、27日に環境教育分科会、28日に都市経済分科会を開催し、決算書および関係書類を基に、行政効果や財源の確保、予算執行の状況などについて活発な質疑が行われ、慎重な審査を行った結果、全会計とも認定すべきものと決しました。

ここでは、最終日の予算決算常任委員長報告に盛り込まれた要望事項を紹介いたします（原文のとおり）。

## 要望事項

予算決算常任委員会各分科会での審査の結果、最終日に予算決算常任委員長から、次のとおり要望事項が報告され、今年度および来年度以降の行財政運営に反映させ、対応されることが期待されました。

### 総務企画

**1** SDGsについては、政策部を中心に各部署間の連携強化を図り、2030年の目標実現に向けて取り組まれない。  
**2** 情報プラザ事業の廃止、売却の決断を高く評価する。今後は速やかに売却に向けて前進されるよう取り組まれない。  
**3** 税制改正による法人市民税の減収や硬直化する経常収支を踏まえ、税の収納方法に工夫を凝らす。

### 市民福祉



**1** 市民の命と生活を守る取組を充実するとともに、妊娠から出産、子育てまでの切れ目のない支援体制のさらなる強化に努められない。  
**2** 各分野における関係団体と連携を図り、保育・医療・健康づくり等の政策に必要な専門職等の人材確保により一層取り組まれない。  
**3** 市民福祉に係る施設の老朽化が進む中、市民生活や市民サービスに大きな影響を及ぼさないよう努められない。

### 環境教育



**1** 地球温暖化防止に向けて、再生可能エネルギーの導入を促進するなど、様々な施策を展開し、環境に優しい社会の実現に取り組まれない。  
**2** 教育施策においては、未来を担う子供たちのため、教師等の指導力の向上を図るとともに、子供たちを取り巻く多種多様な課題解決のため、予算の拡充やさらなる人員の確保に取り組むなど、教育環境の整備に努められない。  
**3** 安定した農業経営を図るため、農業継承者や新規就農者に対する支援

### 都市経済



を積極的に推進するとともに、都市農業政策の財源確保に努められない。

**1** 将来を見据えたまちづくりのため、インフラ整備に当たっては、人口減少、カーボンニュートラルなど長期的に本市を取り巻く環境の変化を踏まえ、十分な予算確保を図るとともに、効率的・効果的な事業推進に努められない。  
 また、年々激甚化、頻発化している風水害や地震等に対し、暮らしや経済等に大きな影響が及ぶことがないよう、防災都市づくりをより一層進められない。

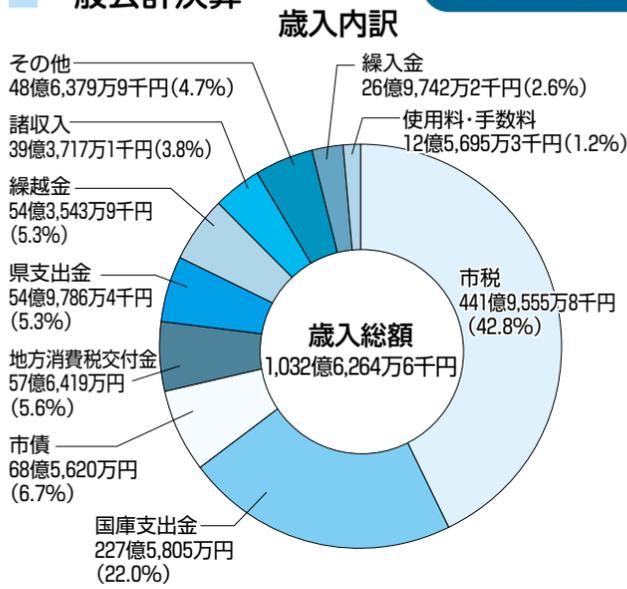
**2** 長らく続いているコロナ禍の影響から、市内事業者が取り残されることのないよう、地域の経済発展のため、様々な分野での施策の展開に取り組まれない。



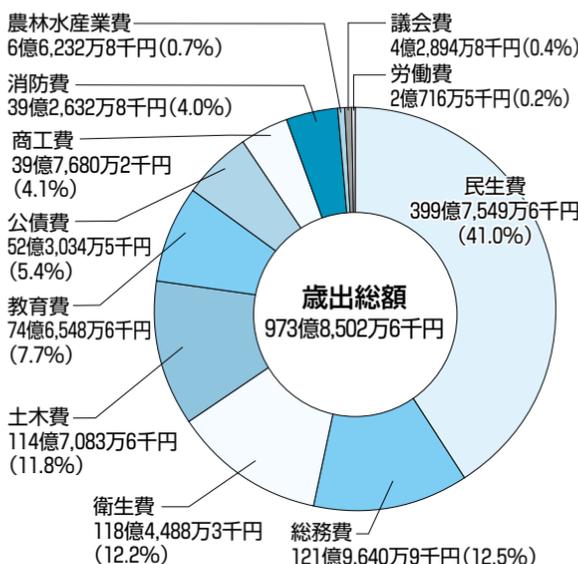
本会議最終日に委員長報告をする遠藤予算決算常任委員会委員長

## 令和3年度決算の内容

### 一般会計決算



### 歳出内訳 (目的別)



### 市民1人あたりに使われた金額

435,715円

※一般会計歳出総額97,385,025,829円を令和4年4月1日現在の人口223,506人で割ったもの

- 【主な使い道 (目的別) の内訳】
- ◆民生費… 178,856円 (社会福祉費、児童福祉費、生活保護費など)
  - ◆総務費… 54,569円 (総務管理費、企画文化費、徴税費など)
  - ◆衛生費… 52,996円 (清掃費、保健衛生費)
  - ◆土木費… 51,322円 (都市計画費、道路橋りょう費、土木管理費など)
  - ◆教育費… 33,402円 (小・中学校費、社会教育費、教育総務費など)
  - ◆公債費… 23,401円 (借入金返済)
  - ◆その他… 41,169円

### 会計別決算

会計名	予算現額	収入済額	支出済額	収支差引額	翌年度繰越財源額	翌年度繰越又は繰上充用額
一般会計	1,050億5,246万9,977円	1,032億6,264万6,402円	973億8,502万5,829円	58億7,762万 573円	3億1,278万5,199円	55億6,483万5,374円
特別会計	公共用地取得事業	17億6,115万7,837円	15億9,050万1,406円	15億9,040万6,740円	9万4,666円	0円
	後期高齢者医療事業	32億7,647万6,000円	31億8,649万3,657円	31億4,756万5,309円	3,892万8,348円	0円
	国民健康保険事業	218億2,698万1,250円	215億7,825万6,491円	214億2,118万7,058円	1億5,706万9,433円	0円
	介護保険事業	157億7,021万6,000円	151億9,470万2,402円	151億 266万4,570円	9,203万7,832円	0円
	小計	426億3,483万1,087円	415億4,995万3,956円	412億6,182万3,677円	2億8,813万 279円	9万4,666円
合計	1,476億8,730万1,064円	1,448億1,260万 358円	1,386億4,684万9,506円	61億6,575万 852円	3億1,287万9,865円	58億5,287万 987円

【参考】令和2年度一般会計決算額 歳入総額1,239億9,706万7,269円、歳出総額1,185億6,162万8,437円

### 事業会計決算

会計名	収入	支出	備考	
病院事業	収益的	132億4,971万7,065円	111億2,201万6,257円	純利益 21億2,256万1,829円
	資本的	7億 960万3,670円	10億9,073万7,118円	
公共下水道事業	収益的	63億6,397万1,033円	59億8,682万 750円	純利益 2億9,063万8,902円
	資本的	19億9,330万4,023円	33億9,925万2,829円	

※企業会計のため、一事業年度の経営活動に伴い発生する「収益的収支」と、将来の経営活動に備えて行う施設整備などに伴い発生する「資本的収支」に分かれています。

# 常任委員・議会運営委員・特別委員一覧

【令和4年8月5日現在】

◎印は委員長、○印は副委員長  
※( )は会派等(正式名称は左下表参照)  
無会派は会派に所属していない議員

総務企画 常任委員会(7人)	市民福祉 常任委員会(7人)	環境教育 常任委員会(7人)	都市経済 常任委員会(7人)	予算決算 常任委員会(28人)	議会運営 委員会(9人)
◎川口 仁(公明党) ○高村 真和(新政) 名切 文梨(あつぎ) 井上 武(ネクス) 神子 雅人(ネクス) 松田 則康(みらい) 石井 芳隆(きずな)	◎田口 孝男(ネクス) ○山崎 由枝(公明党) 後藤由紀子(無会派) 松本 樹影(きずな) 栗山香代子(共産党) 瀧口慎太郎(ネクス) 田上 祥子(公明党)	◎寺岡まゆみ(公明党) ○三橋 文男(ネクス) 高田 浩(無会派) 望月 真実(新政) 難波 達哉(ネクス) 渡辺 貞雄(みらい) 新井 啓司(きずな)	◎高橋 豊(ネクス) ○井上 敏夫(あつぎ) 高田 昌慶(きずな) 奈良 直史(ネクス) 池田 博英(共産党) 遠藤 浩一(公明党) 高橋 知己(新政)	◎遠藤 浩一(公明党) ○新井 啓司(きずな)  三橋 文男(ネクス) 名切 文梨(あつぎ) 栗山香代子(共産党) 高村 真和(新政) 神子 雅人(ネクス) 田上 祥子(公明党) 渡辺 貞雄(みらい)  正副委員長 以外の26人	◎遠藤 浩一(公明党) ○新井 啓司(きずな) 三橋 文男(ネクス) 名切 文梨(あつぎ) 栗山香代子(共産党) 高村 真和(新政) 神子 雅人(ネクス) 田上 祥子(公明党) 渡辺 貞雄(みらい)

広報広聴 特別委員会(9人)	中心市街地活性化 特別委員会(9人)
◎高橋 豊 ○山崎 由枝 松本 樹影 三橋 文男 名切 文梨 栗山香代子 寺岡まゆみ 望月 真実 松田 則康	◎神子 雅人 ○遠藤 浩一 井上 敏夫 池田 博英 田口 孝男 高村 真和 川口 仁 渡辺 貞雄 石井 芳隆

## 会派等名(表記)と所属議員一覧

○は代表者【令和4年10月6日現在】

会派等名(所属議員数)	会派表記	所属議員氏名(住所等、電話番号)
ネクストあつぎ(8人)	ネクス	○難波 達哉(下荻野1413 ☎291-1750) 奈良 直史(及川1-14-25 ☎210-8881) 三橋 文男(小野2298-1 ☎248-9779) 田口 孝男(妻田北2-16-18 ☎222-7129) 高橋 豊(愛甲45-5 ☎247-8453) 瀧口慎太郎(長谷1526 ☎247-1058) 井上 武(幸町2-9 ☎229-5777) 神子 雅人(戸田1862-1 ☎220-1233)
公明党(5人)	公明党	○川口 仁(山際1020-4 ☎245-8794) 寺岡まゆみ(戸室2-23-20 ☎223-7207) 遠藤 浩一(中町4-10-4-406 ☎296-7229) 山崎 由枝(棚沢205-3 ☎241-8527) 田上 祥子(林2-24-10 ☎221-1361)
きずな(4人)	きずな	○石井 芳隆(金田478 ☎222-2658) 高田 昌慶(幸町10-15オアシスパ2階 ☎404-7050) 松本 樹影(上荻野1344-1 ☎242-5550) 新井 啓司(毛利台3-30-6 ☎248-4915)
新政あつぎ(3人)	新政	○高橋 知己(毛利台3-28-12 ☎248-0612) 望月 真実(幸町9-6-1 ☎295-8420) 高村 真和(森の里3-2-8 ☎404-3454)
あつぎみらい(2人)	みらい	○渡辺 貞雄(飯山4544 ☎241-1726) 松田 則康(猿ヶ島233-1 ☎245-1820)
あつぎの会(2人)	あつぎ	○名切 文梨(中町3-17-17 ☎222-2787) 井上 敏夫(金田727 ☎222-2151)
日本共産党(2人)	共産党	○栗山香代子(恩名5-8-1-1301 ☎247-8595) 池田 博英(愛甲3-26-15 ☎080-3349-6550)
無会派(1人)	無会派A	高田 浩(鳶尾5-2-17 ☎242-1930)
無会派(1人)	無会派B	後藤由紀子(中町3-17-17 ☎223-8323)

※三橋文男、瀧口慎太郎、高田昌慶、望月真実議員の住所・電話番号は事務所となっています。  
※名切文梨、後藤由紀子議員は住所を公開していないため、市役所の所在地を記載しています。  
※井上武、高村真和、名切文梨、後藤由紀子議員の電話番号は事務所となっています。

## 市議会選出の各種委員会委員など

【令和4年10月6日現在】

- ◆監査委員／田上祥子
- ◆厚木愛甲環境施設組合議会議員／高田昌慶、井上敏夫、栗山香代子、高橋豊、望月真実、神子雅人、田上祥子
- ◆公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団評議員／井上武
- ◆国道246号バイパス建設促進協議会委員／井上武
- ◆国道412号線建設改良促進協議会委員／井上武
- ◆首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会参与／井上武
- ◆新東名高速道路建設促進期成同盟会参与／井上武
- ◆ツインシティ整備計画に定める道路2軸(平塚愛甲石田軸及び伊勢原大神軸)整備促進協議会委員／井上武
- ◆都市計画審議会委員／井上武、高橋豊
- ◆青少年問題協議会委員／田口孝男
- ◆鳶尾山対策協議会委員／高田浩、山崎由枝、難波達哉、田上祥子
- ◆主要地方道伊勢原津久井線建設改良促進協議会委員／三橋文男
- ◆上飯山中津上依知線道路整備促進協議会顧問・委員／井上武、松本樹影、川口仁、渡辺貞雄、石井芳隆
- ◆中津川堤防道路整備促進協議会顧問・委員／井上武、後藤由紀子、奈良直史、井上敏夫、田口孝男、山崎由枝、川口仁、田上祥子、松田則康、石井芳隆
- ◆座間荻野線建設促進協議会顧問・委員／井上武、松本樹影、高田浩、井上敏夫、山崎由枝、難波達哉、川口仁、松田則康、石井芳隆

## お気に入りの写真を市議会だよりに表紙掲載写真を募集

市内で撮影した四季折々の風景など、厚木の魅力あふれる写真を募集しています。今回は第261号(2月1日発行)に掲載する写真を募集します。



▲応募についての詳細は市議会ホームページをご覧ください



【生徒からの質問】

- ・選挙権年齢の引き下げに伴う中高生の社会参加への対策は
- ・時間を有効に活用できるよう、自転車通学を認める考えは
- ・クロームブックの活用幅をもっと広げることへの検討は
- ・10代が楽しめる本厚木周辺にするためにはどうすべきか
- ・健康面や着替え時間などの理由から、ジャージ登校の許可は
- ・障がいのある人が通う特別支援学校を設置する考えは など

## 第4回あつぎ子ども議会(中学生議会)を開催しました

22人の中学生議員が参加し、小林常良市長や佐後佳親教育長などに市政のさまざまなテーマについて考えを問いました。



詳しくは今後ホームページに掲載する会議録をご覧ください

# 本会議の審議結果

第3回会議 提出案件 8月5日(金) 議決		各会派などの賛否 ○…賛成 ●…反対								議決結果	
		ネクス	公明党	きずな	新政	みらい	あつぎ	共産党	無会派A		無会派B
議案第42号	厚木市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第43号	令和4年度厚木市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決

◎令和4年8月5日議決時の会派構成など

※議長…井上武(議長は採決に加わりません)、副議長…瀧口慎太郎

※会派等表記、正式名称、議員数、所属議員( )は代表者)

ネクス…ネクストあつぎ(8):難波達哉、奈良直史、三橋文男、田口孝男、高橋豊、瀧口慎太郎、井上武、神子雅人

公明党…公明党(5):川口仁、寺岡まゆみ、遠藤浩一、山崎由枝、田上祥子 きずな…きずな(4):石井芳隆、高田昌慶、松本樹影、新井啓司

新政…新政あつぎ(3):高橋知己、望月真実、高村真和 みらい…あつぎみらい(2):松田則康、渡辺貞雄 あつぎ…あつぎの会(2):名切文梨、井上敏夫

共産党…日本共産党(2):栗山香代子、池田博英 無会派A…無会派(1):高田浩 無会派B…無会派(1):後藤由紀子

第4回会議(9月定例会議) 提出案件 9月1日(木) 議決		各会派などの賛否 ○…賛成 ●…反対								議決結果	
		ネクス	公明党	きずな	新政	みらい	あつぎ	共産党	無会派A		無会派B
議案第77号	令和4年度厚木市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決

第4回会議(9月定例会議) 提出案件 10月6日(木) 議決		各会派などの賛否 ○…賛成 ●…反対 △…除斥									議決結果
		ネクス	公明党	きずな	新政	みらい	あつぎ	共産党	無会派A	無会派B	
議案第44号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第45~57号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第58号	令和3年度厚木市一般会計歳入歳出決算について	○	○	○	○	○	●	●	○	○	認定
議案第59号	令和3年度厚木市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	認定
議案第60号	令和3年度厚木市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	認定
議案第61号	令和3年度厚木市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	認定
議案第62号	令和3年度厚木市介護保険事業特別会計歳入歳出決算について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	認定
議案第63号	令和3年度厚木市病院事業会計決算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第64号	令和3年度厚木市公共下水道事業会計決算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第65号	厚木市環境基本条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第66号	厚木市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第67号	市道路線の廃止及び認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第68~70号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第71~74号	市道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第75号	厚木市と愛川町との住民票の写しの相互交付事務の委託の廃止に係る協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第76号	厚木市と清川村との住民票の写しの相互交付事務の委託の廃止に係る協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第78号	令和4年度厚木市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第79号	所有権移転登記手続請求事件の和解について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第80号	令和4年度厚木市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第81号	監査委員の選任について	○	○△	○	○	○	○	○	○	○	同意
陳情第6号	国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上並びに行き届いた教育の実現を求める意見書を国に提出することを求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情第7号	工事請負契約に係る軽易な変更について地方自治法第180条第1項に基づく専決事項とすることを求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情第8号	防衛省によるミャンマー国軍士官・士官候補生の受入れ中止を求める意見書を国に提出することを求める陳情	●	●	○●	●	●	○	○	○	○	不採択
議員提出議案第2号	国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上並びに行き届いた教育の実現を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案第3号	市長の専決事項の指定についての一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

◎「陳情第9号」は、令和4年9月1日開催の議会運営委員会にて協議した結果、本会議に上程せず、全議員に配布することとなりました。

◎「議案第81号 監査委員の選任について」は、本人の監査委員選任議案のため、地方自治法第117条の規定により田上祥子議員(公明党)を除斥し、採決が行われました。

◎令和4年9月1日、10月6日議決時の会派構成など

※議長…井上武(議長は採決に加わりません)、副議長…瀧口慎太郎

※会派等表記、正式名称、議員数、所属議員( )は代表者)

ネクス…ネクストあつぎ(8):難波達哉、奈良直史、三橋文男、田口孝男、高橋豊、瀧口慎太郎、井上武、神子雅人

公明党…公明党(5):川口仁、寺岡まゆみ、遠藤浩一、山崎由枝、田上祥子(議案第81号除斥) きずな…きずな(4):石井芳隆、高田昌慶、松本樹影(陳情第8号反対)、新井啓司

新政…新政あつぎ(3):高橋知己、望月真実、高村真和 みらい…あつぎみらい(2):渡辺貞雄、松田則康 あつぎ…あつぎの会(2):名切文梨、井上敏夫

共産党…日本共産党(2):栗山香代子、池田博英 無会派A…無会派(1):高田浩 無会派B…無会派(1):後藤由紀子

**参加者募集** **第17回議会報告会**  
**市民と議会の意見交換会を開催**

市民の皆さまと対面で自由に意見を交換する「議会報告会」を開催します。お気軽にご参加ください。

**1 日時** 11月20日(日曜日) 午後2時~4時(予定)

**2 テーマ** 地域の防災について

**3 場所** 依知南公民館(下依知3-1-7)

**4 定員** 40人(市内在住・在勤・在学の方)

**5 参加方法** 当日、直接会場へお越しください

☎ 議会総務課 ☎225-2701



市民の皆さまと対面で実施する議会報告会の開催は3年ぶり

12月定例会議の開催予定						
日	月	火	水	木	金	土
			11/30	12/1	2	3
・会議は原則として午前9時に開きます。			本会議、予算決算常任委員会			
・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、インターネットライブ中継をご利用いただきますようお願いいたします。						
4	5	6	7	8	9	10
		一般質問	一般質問	一般質問		
11	12	13	14	15	16	17
		総務企画常任委員会・分科会	市民福祉常任委員会・分科会	環境教育常任委員会・分科会	都市経済常任委員会・分科会	
18	19	20	21	22	23	24
				予算決算常任委員会	本会議、広報広聴特別委員会	